

リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)

専門科目(リハビリテーション科学学位プログラム\_博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OAS0602	リハビリテーション方法論基礎I	1	1.0	1	春A	水7,8		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_M1担任, リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	研究法の基礎として, 研究デザイン, 学術論文の要件, 臨床研究の倫理, 実験計画法, 調査法, 観察法, 面接法, 質的研究法, 事例研究法, 文献研究法, 検査法等について概説する。	・受講は人間総合科学学術院の在學生に限る。
OATE101	リハビリテーション方法論基礎II	2	1.0	1	春C	水7,8		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_M1担任, リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	研究能力・論文作成能力を高めるために, 担当教員の指導のもとに文献研究を行う。主に研究テーマの設定, 文献資料の収集・解析, 論文の書き方・まとめ方, プレゼンテーションの方法等について指導を受ける。10月7日には, 研究成果について学会形式に準じて発表を行い, プレゼンテーション方法について実習し, 学習課題について理解を深める。研究テーマは修士論文の作成に向けたものであることが望ましい。研究指導は, 2-5名の学生について1教員が対応する個別指導の形式で行う。担当教員と指導日を相談して決める。	・受講は, リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
OATE102	リハビリテーション方法論基礎III	2	1.0	1	秋AB	水7,8		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_M1担任, リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	第1回目に, 2年次の研究テーマや研究計画について学会に準じた形式で発表する(1年次研究計画発表会)。第2回目以降, 修士論文の作成を念頭において, 研究テーマの設定や方法, 研究計画などについてグループ指導を行う。グループごとに数名の教員が担当し, 学生を交えて多面的に議論を深め, 研究計画等の充実を図る。	・受講は, リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
OATE103	リハビリテーション研究法I	2	1.0	2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_M2担任, リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	リハビリテーション科学の研究法について演習を通して具体的に指導する。	・受講は, リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
OATE104	リハビリテーション研究法II	2	1.0	2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_M2担任, リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	リハビリテーション科学の研究法について演習を通して具体的に指導する。	・受講は, リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
OATE105	リハビリテーション概説	1	2.0	1	春AB	土4,5	2F講義室9	リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	医学, 心理学, 教育学, 社会学等の幅広い観点から, リハビリテーションの発展過程と現代社会における定位を解説するとともに将来へのあり方を展望し, リハビリテーションの理念と実際について概説する。	01EJ501と同一。 ・受講は, リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
OATE106	リハビリテーション研究基礎論	1	1.0	1	春B	水7,8		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	リハビリテーション分野の研究法の基礎として, 研究デザイン, 学術論文の要件, 臨床研究の倫理, 実験計画法, 調査法, 観察法, 面接法, 質的研究法, 事例研究法, 文献研究法, 検査法などについて概説する。	01EJ503と同一。 ・受講は, リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
OATE107	リハビリテーション特別研究	2	1.0	2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	リハビリテーションに関する研究を, 文献研究, 実験実習などを通して具体的に指導する。	01EJ502と同一。 ・受講は, リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。

OATE201	医学的リハビリテーション	1	1.0	1・2	春C 秋C	火7,8 集中	2F講義 室9	山田 実,白石 弘 巳,小澤 温	医学的リハビリテーションをめぐる今日的課題について、医学生物学的側面から制度的な問題まで多面的に検討し、今後のリハビリテーションのあるべき姿を考察する。	01EJ601と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生に限る。 集中講義分(1/9と1/10)の実施時間帯:14:30~17:10
OATE202	特別支援教育特講	1	1.0	1・2	春C	金7,8	2F講義 室9	川間 健之介,佐 島 毅	特別支援教育の制度、カリキュラムを踏まえて視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、及び発達障害の、その教育の理念と歴史及び現状について解説し、関連諸分野との連携について概説する。	01EJ602と同一。
OATE204	職業リハビリテーション	1	1.0	1・2	春A	金7,8	2F講義 室9	八重田 淳	障害をもつ人々の85%は、「働く機会さえあれば働きたい」というアメリカの調査結果がある。「働く機会」が十分に創造されていないのはなぜか?本講義では、リハビリテーションそのものへの問いかけから始まり、働くことを手段とする職業リハビリテーションの哲学、職業リハビリテーションの科学、海外における職業リハビリテーションの実践等について紹介し、職業リハビリテーション領域における具体的な研究アプローチを学習する機会を提供する。	01EJ604と同一。
OATE205	地域リハビリテーション	1	2.0	1・2	春AB	木7,8	2F講義 室9	小澤 温	地域リハビリテーションのサービスシステムを検討し、現状と課題を学習する。さらに、地域福祉論と地域ケア論における地域リハビリテーションの位置づけを検討する。	01EJ659と同一。
OATE206	統計学	1	3.0	1・2	春AB 夏季休業 中	土6,7 集中	2F講義 室9	山田 実,川間 健 之介,八重田 淳, 佐島 毅	記述統計及び推測統計の基礎を学び、研究デザインに応じた統計解析の手法を選択する力を養う。	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生に限る。 ・集中講義分(8/15,8/16)の時間帯は10:20~17:50。
OATE301	特別支援教育授業論	1	1.0	1・2	秋A	金7,8		川間 健之介,佐 島 毅,米田 宏樹	特別支援教育の理念に基づき、特別支援学校及び小中学校特別支援学級における学校体制、学級経営、指導計画の立案・作成と評価、授業実践の在り方の実際について考究する。	01EJ639と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生に限る。
OATE302	特別支援教育教育課程論	1	1.0	1・2	秋B	金7,8		川間 健之介,佐 島 毅,米田 宏樹	障害児教育における教育課程編成の原理と実際について概説する。とくに、障害の重度化、重複化あるいは多様化の中で、法令や学習指導要領に規定される特例を用いた弾力的な教育課程の編成について整理し、特別支援教育における教育課程の編成及び教育課程開発の在り方について考究する。	01EJ640と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生に限る。
OATE303	特別支援教育コーディネーター論	1	1.0	1・2	秋C	火7,8		熊谷 恵子	特別支援学校および小・中学校における特別支援教育コーディネーターの役割と専門性、学校間の協力体制の構築、校内支援体制の構築、コーディネーターの育成について取りあげ講義するとともに、特別支援教育コーディネーターの実際について学ぶ。	01EJ641と同一。
OATE304	障害者福祉論	1	1.0	1・2	春C	木7,8	2F講義 室9	小澤 温	障害および障害者の社会福祉学における概念を理解し、障害者福祉の理念、思想、歴史を理解する。さらに、障害者の生活実態とその生活を取り巻く環境を理解する。障害者総合支援法と関連する諸制度に関する理解を深め、障害者支援に関して学習する。	01EJ658と同一。
OATE305	職業指導論	1	1.0	1・2	通年	随時		八重田 淳	障害児・者の雇用と就労に関する国内外の動向と法制度の概要、就労支援サービス利用者のニーズ、就労支援・職業リハビリテーション関連機関と関連専門職の役割と機能、就労支援のプロセスと就労支援技術、医療・教育分野との連携について述べる。	01EJ643と同一。
OATE306	リハビリテーション事例研究	2	2.0	1・2	秋AB	土6,7	2F講義 室9	リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)担当教員	リハビリテーションの観点から事例を検討し、リハビリテーションにおける連携の諸問題について理解を深め、相談援助のための知識・技術を修得する。	01EJ618と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生に限る。

OATE307	特別支援教育事例研究	2	2.0	1・2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	障害児・者等の事例を検討し、事例を中心とした各領域・職種間における連携の諸問題について理解を深めるとともに、相談援助のための知識・技術を修得する。	履修条件:専修免許取得予定者に限る。 01EJ644と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生者に限る。
OATE308	視覚障害学特論	1	2.0	1・2	春AB	火7.8	2F講義室9	佐島 毅	視覚障害児・者の感覚・知覚・認知の特性を概観し、医学的・心理学的視点を含めて包括的に発達、学習、教育支援の視点を学ぶ。	01EJ608と同一。
OATE309	聴覚障害学特論	1	2.0	1・2	秋AB	火7.8		山田 実, 左藤 敦子, 岡野 由実	本講では、小児期の聴覚障害児における聴覚認知、言語・社会的相互交渉の特性と障害について、聴覚医学(Audiology)の観点で、障害の実態とメカニズム、さらに指導法について講義を行なう。聴覚障害のリハビリテーションについて、基礎的な用語の解説から、最近の医学的知見に基づいた、聴覚の補償(補聴器・人工内耳)や、コミュニケーション障害の指導、および家族支援の実践まで幅広く講義する。小児のコミュニケーション障害において誤り易い聴覚障害児と知的障害児との共通性と相違点など鑑別に必要な視点について、事例や最近の研究知見をとおして理解を深める。さらに、近年、特別支援教育学や言語聴覚障害学で注目される、新生児聴覚検査による超早期診断、軽中等度難聴児の間こえとコミュニケーション、心理・社会的適応の課題、手話によるコミュニケーション法の選択などのトピックスに触れ、支援の科学的根拠について議論する。	01EJ609と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生者に限る。
OATE310	言語障害学特論	1	2.0	1・2	通年	随時		山田 実	まず言語・コミュニケーション障害の種類、言語・コミュニケーション障害に対する評価・診断、治療および支援の枠組みについて概説し、次に小児期から老年期までにわたる各障害の基本概念、原因と発生メカニズム、症状・評価・診断、指導・訓練・相談・マネジメントの方法と実際について概説する。	01EJ610と同一。
OATE311	運動障害学特論	1	2.0	1・2	春AB	金7.8	2F講義室8	川間 健之介	運動障害児(者)のリハビリテーションに関するアセスメントとインターベンションに焦点を当てて、医学的・教育的・心理学的側面から学習する。	01EJ611と同一。
OATE312	知的障害学特論	1	2.0	1・2	秋AB	金7.8	2F講義室9	小島 道生, 小澤 温	知的障害の心理や認知特性、教育課程や指導法、そして福祉制度ならびに評価や支援の実践について概説する。	01EJ613と同一。 ・集中講義分の実施時間帯:10:20~17:50
OATE313	精神障害学特論	1	2.0	1・2	秋AB	火7.8	2F講義室9	河野 禎之	超高齢社会である現代において重大な疾患となっている「認知症」について、臨床的・実践的な講義を行うとともに、医療/福祉領域に限らず認知症を「社会的課題」として捉えるアプローチである「Dementia Friendly Community」について最新の知見を学ぶ。また、年代を問わず最も身近な精神障害と言える「うつ」について、その病理や最新の薬物/非薬物治療のほか、最新の社会情勢、具体的な対応の実践について学ぶ。さらに、授業でグループワークを重ねることで、これらの課題について自らがどのように考え、どのように行動するのか、プロフェッショナルとして主体性を発揮できるようになることを目指す。	01EJ614と同一。 ・受講にあたり、所属学位プログラム(専攻)は問わないため、誰でも受講可能。 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)
OATE314	高次脳機能障害学特論	1	2.0	1・2	秋AB	集中		山田 実, 望月 聡, 小澤 温	高次脳機能障害について、まず総論として概念・方法論について、次に各論として個々の高次脳機能障害についてできるだけ具体的事例を提示しながら概説し、研究動向とリハビリテーションについても触れる。	01EJ663と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生者に限る。 ・実施時間帯:10:20~17:50
OATE315	健康障害学特論	1	1.0	1・2	春AB 夏季休業中	木7.8 集中		川間 健之介, 山田 実	健康障害を有する者および高齢者および健康障害を有する者をめぐる諸問題を多面的に検討し、包括的なりハビリテーションのあり方を考察する。	01EJ636と同一。 ・集中講義分の実施時間帯:10:00~17:00
OATE316	高齢障害学特論	1	1.0	1・2	秋AB	木7.8	2F講義室9	山田 実	高齢者をめぐる諸問題を多面的に検討し、包括的なりハビリテーションのあり方を考察する。	01EJ637と同一。
OATE317	発達障害学特論	1	2.0	1・2	春AB	火7.8	2F講義室8	熊谷 恵子	発達障害を理解する上で必要となる心理学的な知識(認知的な特徴、発達、行動等)、学習上での特徴を取り上げ、さらに、支援のための通常学校でのシステム、教育相談など、指導につなげるためのリソースについても講義する。	01EJ661と同一。

OATE318	視覚障害学演習	2	1.0	1・2	通年	随時		佐島 毅	視覚障害教育、医療、福祉、リハビリテーションに関する内外の文献及び実際例をもとに、医学的・教育的・心理学的側面を踏まえて理論的・実践的に考察する。	01EJ645と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。
OATE319	運動障害学演習	2	1.0	1・2	通年	随時		川間 健之介	運動障害児(者)のリハビリテーションに関するアセスメントとインターベンションに焦点を当てて、内外の文献及び実際例をもとに、教育的・心理学的側面から学習する。小児期から高齢期にいたる運動障害をはじめとする障害のリハビリテーションの今日的課題について事例及び文献を通して医学生物学的側面を踏まえて理論的・実践的に考察する。	01EJ648と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。
OATE320	高齢障害学演習	2	1.0	1・2	通年	随時		山田 実	高齢期におけるさまざまな障害のリハビリテーションをめぐる今日的課題について、事例及び文献を通して理論的・実践的に考察する。	01EJ650と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。
OATE321	発達障害学演習	2	1.0	1・2	通年	随時7,8		熊谷 恵子	発達障害児者の学校場面における様子を観察する時のポイントについて学んだ上で、主に教育相談室に入室した発達障害の子どもの面接(初回面接ならびに学習支援やSSTなど)に立ち会うなどし、子ども達のニーズを把握するために重要な観察ポイントを学ぶ。それを踏まえて、論文に書かれている子ども達の実態をイメージできるようにする。	01EJ652と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。
OATE322	社会リハビリテーション演習	2	1.0	1・2	通年	随時		小澤 温	社会リハビリテーションの理論に基づいて、社会生活力を高める各種プログラムや、機会均等化、環境改善を進めるための具体的な実践方法や課題を学ぶ。	01EJ654と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。
OATE323	職業リハビリテーション演習	2	1.0	1・2	通年	随時		八重田 淳	キャリアデザイン、キャリア移行支援、キャリア開発などをキーワードに、生涯発達科学における職業リハビリテーション研究方法論を演習形式により修得する。研究法に慣れ親しみ、学術論文を読める力を養い、研究計画を策定・実施するために必要な基本能力を養うために、実際に調査票を作成し、仮データに基づいた分析等を行う。	01EJ655と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。
OATE324	リハビリテーションカウンセリング	2	1.0	1・2	春B	金7,8	2F講義室9	八重田 淳	リハビリテーションカウンセリングは、障害をもつ人々の総合的な自立生活と自己実現を総合的に支援するカウンセリング心理学の応用科学領域であり、もともとは職業リハビリテーションを総合的にマネジメントするための手法としてアメリカを中心に展開されている。したがって本講義では、アメリカの大学院リハビリテーションカウンセラー教育法を取り入れ、Scientist-Practitionerに必要なスキル習得を目指す。	01EJ607と同一。
OATE325	リハビリテーション課題研究	2	1.0	1・2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)担当教員	当年度春学期開始後(2年次の院生は12月1日以降)になされた各自の関連学会等における発表をもとに、その際の議論に基づいて、研究を深める。また、この発表をもとに学会誌等へ論文を投稿する。	01EJ619と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。
OATE326	リハビリテーション英語	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中		八重田 淳	リハビリテーションの英語論文を効果的に読む方法、妥当な検索キーワードの選び方、英語の図表の書き方と読み方、正しい英語文献の書き方、国際共同研究の進め方、国際学会プレゼンテーションなどについて実践的に学ぶ。	01EJ656と同一。 ・実施時間帯:10:20~17:50
OATE327	国際リハビリテーション演習	2	1.0	1・2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)担当教員	英語による学会発表用ポスターの作成、プレゼンテーション技法、アカデミックライティング力を向上するために、グループワークによる演習を行う。	01EJ664と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。
OATE328	質的研究法	1	1.0	1・2	秋B	集中		山田 実、砂見 綾子、小澤 温	目的・ねらい:基礎的な質的研究の手法を学び、研究設問に応じたテキストデータの分析能力を向上することを目的とする。 授業概要:グラウンデッドセオリー、修正版グラウンデッドセオリーアプローチ、KJ法、内容分析、ケース媒介法、テキストマイニング等、研究デザインに応じた質的分析の手法を選択する力を養う。 キーワード:GT, M-GTA, KJ, CM, TEM	01EJ665と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。 ・実施時間帯は10:30~17:30

OATE329	多変量解析法	1	1.0	1・2	秋A	集中	山田 実, 荘島 宏 二郎, 小澤 温	主成分分析、因子分析、重回帰分析、共分散構造分析等、研究デザインに応じた多変量解析の手法を選択する力を養う。原則として「統計学」の受講を前提とする。	01EJ666と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在学生に限る。 ・実施時間 帯:10:20~17:50
OATE330	精神障害学演習	4	1.0	1・2	秋C	随時	河野 禎之	精神障害教育、医療、福祉、リハビリテーションに関する内外の文献及び実例をもとに、医学的・教育的・心理学的側面を踏まえて理論的・実践的に考察する。	受講はリハビリテーション科学学位プログラムの学生に限る。 01EJ653と同一。